

令和7年

健康福祉委員会

3月12日

豊明市議会

健康福祉委員会会議録

令和7年3月12日

午前10時00分 開会

午前11時12分 閉会

1. 出席委員

委員長	ふじえ 真理子	副委員長	青 木 けんじ
委員	浅 井 たかお	委員	近 藤 ひろひで
委員	三 浦 桂 司	委員	一 色 美智子
委員	堀 内 ち ほ		
議長	毛 受 明 宏		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	加 藤 健 治	議事課長	深 草 広 治
庶務担当係長	福 田 悦 子	議事担当係長	矢 野 佑 輔

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市 長	小 浮 正 典	副 市 長	土 屋 正 典
健康福祉部長	中 村 泰 正	地域福祉課長	小野寺 良 夫
長 寿 課 長	塚 本 由 佳	健康推進課長	川 原 静 恵
こども保育課長	小 川 正 寿	指導保育士	柴 田 美由紀
指導保育士	鈴 木 祐 見	保険医療課長	近 藤 有紀子
子育て支援課長	松 村 清 子		

5. 傍聴議員

岡 島 ゆみこ	鈴 木 智 和	中 堀 りゅういち	こんどう のぶお
いとう ひろし	服 部 龍 一	武 谷 としお	郷右近 修
林 ゆきひろ	月 岡 修 一	清 水 義 昭	

6. 傍聴者

2名

午前10時開会

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） おはようございます。

定刻に御参集いただき、ありがとうございます。ただいまより健康福祉委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より挨拶をお願いします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 皆様、おはようございます。

本日の健康福祉委員会に付託されました案件は5つの議案でございます。慎重なる審査をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上、終わります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ありがとうございます。

続いて、議長より挨拶をお願いします。

○議長（毛受明宏議員） 皆さん、おはようございます。

本日の健康福祉委員会は5つの議案になります。慎重審査をよろしくをお願いします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

お諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退席を願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おき願います。

（市長退席をなす）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。また、反問を終了するときにも、意思表示を明確にされるようお願いいたします。

初めに、議案第38号 豊明市国民健康保険税条例の一部改正についてを議題といたします。

本案件につきましては、既に本会議で近藤保険医療課長より提案説明を受けていますので、直ちに質疑に入りたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第38号は提案説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

浅井委員。

○浅井たかお委員 今回、国保税の値上げ改定はどのような理由からでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

近藤保険医療課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 本会議場のほうでも御説明をさせていただいているところでございますが、今回の改定の理由といたしましては、現在、国が国の方針で平成30年度に国保制度改革によって県との市町村との共同運営とされました。将来的に保険料水準の統一や完全統一が目指される中で、県が示す標準保険料率との乖離がある部分につきまして、将来を見据えて改定を進めていくものでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 今の御説明ですと、来年度も保険税を上げるように決まってるように思うんですけど、どうでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） こちらのほうも本会議場のほうでも説明をさせていただきましたが、現在、本市の標準保険料率との乖離額でございますが、標準保険料率で試算されます令和7年度の1人当たりの調定額につきましては13万5,000円程度となっております。それに対しまして、改定前ですと11万4,000円と2万円程度の差がございます。改定に当たりまして1万2,858円程度の差に縮まりますので、今後それをまた急激な激変にならないようなことに配慮しつつ、今後の年度におきましても改定を考えていくものでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 この直近3年間の国保の加入者の人数はどうでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 被保険者数の実績での推移のほうをお伝えしたいと思います。平均になります。令和5年度につきましては1万1,088人、令和6年度につきましては1万500人、申し訳ありません、令和6年度は見込みでございますが、1万500人、令和7年度につきましては当初予算時の見込みでございますが、9,950と見込んでおります。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 県内での豊明市の医療費水準は本会議で4番目と聞きましたけども、保険料率は何番目になるか教えてください。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 県内の自治体の課税率としてお答えしたいと思います。令和6年度の1人当たり課税額の県下順位につきましては39位と、令和5年度と変わっておりません。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 県というか、国というか、令和11年度までに国保の保険料の納付金ベースで統一を目指すと言って、豊明市として今調整しているわけなんですけども、これは9年度までに合わせると言ってましたけども、事情によっては延期する場合もあるのかどうか、9年度で愛知県に合わせるのか、ちょっとこのところをお願いします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） こちらも本会議場でもお伝えしましたが、県のほうの方針といたしましては、令和11年度に納付金ベースでの統一を目指しております。本市におきましては、平成30年度の国保制度改革の際に赤字解消とともに令和9年度を標準保険料率の到達目標と、一旦、市の国保運協で決めたものでございます。県内におきましても同様の目標としている市町村も多くございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 先ほどの答弁と重なるかもしれませんが、標準保険税率と金額ベースで2万ほど乖離していたので、6年度は税率改正で、今年度は7,300円ほど引き上げまして、単純計算で7年、8年で先ほど言いました1万2,800円、あと不足するので、ここで調整するということで、今回は7年度分で税率改正してもまだ県平均と乖離しているので、これ、8年度も調整して9年度で合わせるということによろしいですか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 基本的には先ほどの答弁させていただいた内容と同じでございますが、加入者構造の変化が非常に著しいので、試算したとおり税収入が見込まれない場合も想定されます。また、令和8年度には子ども・子育て支援金制度が予定されておりますので、各年度の引上げ幅が急激なものとならないよう今後も見込んでいく予定としております。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 今言われた子ども・子育て支援金制度、令和8年度から始まると思うんですけど、全世代から医療保険の保険料と合わせて拠出するという制度、国保からの拠出分は幾らで、子ども・子育て支援金分は幾ら上乗せになるかという計算はできておりますかね。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） こども未来戦略加速化プランの必要な費用に充てるためということで、医療保険者から子ども・子育て支援納付金を徴収することとされております。現段階では令和8年度より徴収のほうを段階的な額として行っていくとされているもので、まだ具体的な額としては示されておりませんが、大体、今年度程度、段階的に引き上げていくことで、その中に何とか収まるのではないかなというふうに現段階では想定しているものでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 国保税の3割軽減、5割軽減、7割軽減はこの3年間でどのように変化していますでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 浅井委員、2割軽減でいいですか。3年間の、

もう一度お願いします。

○浅井たかお委員 失礼しました。2割軽減、5割軽減、7割軽減はこの3年間でどのように変化していますか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 3年間の数字としては持っておりませんが、パーセンテージとしてはおおむね変わりございません、大きくは。といいますのは、毎年度、軽減基準の見直しが国のほうで行われておりますので、一定割合が維持されるように見直しもされているものでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 ちょっと総論的になってしまうんですけども、国保の加入者が団塊の世代が後期高齢者のほうへ移行して加入者が少なくなっていると。ということは、当然、分母が小さくなって負担が増えるという構造は豊明市だけの問題ではないので、この流れは止められないと思いますけども、豊明市としてはどのように国保の制度を捉えておりますかね。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） まず国保制度でございますが、国保の国保料につきましては、基本的に後期高齢者医療制度への支援金と、あと、介護保険への納付金、それから、医療の部分で成り立っております。それぞれの各分野ごとに高齢化が進むと上がるものでございますので、今後も全体に必要な保険料としては多くなっていくものと見込んでおります。

それと、あと、構造的な問題として、高齢者ですとか、低所得者の加入が、今後、社会保険の適用拡大が進みますので、そういった傾向が進みます。そうすると、医療費が高いという構造的な課題が一層大きくなるものと考えております。

ですので、同様のことは本市だけではなく全国的に起こっているものでもございまして、保険料については引き上げざるを得ないし、こうしたことは課題ということは国レベルの会議でも意見がされているところでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 国保加入者で65歳以上は大体何割ぐらいでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 令和6年度の国保につきましては、75歳以上は後期高齢者のほうとなりますので、65から74歳の前期高齢者でお答えいたしますと、令和6年の12月末の段階で43.5%でございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 100万円以下の所得階級世帯の割合は50%以上でしたが、無職の方は何割くらい分かりますでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 年金生活者の方が非常に多くはなっておりますが、無職の方かどうかという把握はしておりません。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 国保税の滞納者がいるとお聞きしましたが、滞納者は何人でしょうか。また、総額は幾らか分かりますでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁できますか。

質問、浅井委員。

○浅井たかお委員 では、1人当たりの医療費が県内4位ということでしたが、その理由は分かるでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 今回、年齢調整別の医療費水準が4位となっておりますが、1位が東栄町でございまして、東栄町は非常に人数の少ないところでございますので、多分、非常に高額の方が一部いらっしゃったということが推測されます。2位が名古屋市になりますので、いつも豊明市同様に医療インフラが非常に充実していることなど、それが要因となっているかと思います。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 国保税の税率を考えるに当たって健康保険や共済との比較はしましたでしょうか。国保税の税率は比較するとどのような状況と考えていますでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 比較はもちろんしておりますが、それによって国保税の制度自体を改めるというのは、国の制度でそもそも成り立っているものでございますので、状況としては把握しておりますが、税率改定に影響するものではないと考えております。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 国保税の引上げを抑えるためにはどんな努力をしていますでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 基本的には保健事業の強化による療養給付費の適正化、それから、特定財源の増額、それはいずれももう既に努力をしているところでございます。

それと、保険税収の増でございますが、収納率の向上です。

あと、それと、基金の活用でございますが、基金については既にかなり少ない額となっておりますし、本来、保険税の剰余金を基金のほうに積むのが本来の考え方でございますので、それが成り立たないので保険税のほうを引上げをさせていただいているところでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

浅井委員。

○浅井たかお委員 反対の立場で討論いたします。

国保加入者が急激に減って、世帯所得も非常に低い、2割、5割、7割軽減されている方も現状維持で減ってはいないということです。加入者の大半は65歳以上で、年金も増えていないということです。あと、所得が増える見込みもありますが、毎年のように国保税が引き上げられています。市民はみんな何らかの健康保険に入っていますけれども、その市民の中で大きな格差があってはいけないと思います。お役所の方たちは共済保険加入者で、雇用主が保険料を半分出していて、さらに家族の分の保険料負担が少ないので、あまりぴんときないのかもしれませんが、ほかの健康保険と比べて国保が非常に高いです。国保加入者は生活費を節約して、税率が一方的に上げられて生活に大変な支障が出ています。県の指導どおりではなく、市独自の考えでやっていくのが地方自治だと思います。国保税の負担はもっと下げて、特に均等割の軽減策についてはもっと拡大をするということを求めて反対討論とします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 国民皆保険制度というのは、本来3割負担で医療を受けられて、お金の心配をあまりせずに完治の可能性が低い患者の人でも高額医療を受けられるという制度で、高額医療は一定金額を上回れば還付される仕組みで、世界を見渡してもこれは日本ぐらいで、この医療制度はすばらしいと評価されております。

一方、このように、今、浅井委員が若干言われましたけども、国保の現状を見ると一般会計から繰入れなしで継続はできません。一般会計の繰入れ、もしくは保険料の保険料率を改正しないと制度が維持できずに、限界、もう袋小路に入っているのが現状だと思います。財源不足、今まで一般会計から繰り入れて運営しておりましたけども、赤字補填分をゼロに向かわせるという方向では保険料率改正しか道がないのが現状だと思います。

受けたい医療を受けられて、豊明市は県下で上位の医療費で、先ほど来、税率は下位と。どんどんどんどん高齢化が進んで、10年先だったら何%と言ったかな、高齢化率が35%を超えと言われて医療需要が増すのは当然ですけども、サービスレベルを下げるのか、保険税で負担するしかありません。給付とのバランスで決まるはずだから、今の人口形態で財源を確保しようと思うと、現実として税とか消費税などで対応するしかなくなってしまうので、国民皆保険を守るという立場でいえば、給付を抑制する手だてとして、今日もうちのまちかど運動教室、開催しておりますけども、健康推進を図って医療費を抑制することを考えることとか、本当に物価高で市民生活が苦しくなっている今、値上げする議案に対しての賛成は本当に心苦しいものがありますけども、かつては議員年金がありましたけども、分母と分子のバランスが大きく崩れて、十数年前、廃止になりましたけども、

国民健康保険制度を廃止にするわけにはいきません。もろ手を挙げての賛成とはいきませんけども、制度維持のために賛成といたします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第38号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 賛成多数であります。よって、議案第38号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第42号 令和6年度豊明市一般会計補正予算（第10号）についてのうち、本委員会所管部分についてを議題といたします。

本案件について理事者の説明を求めます。

小野寺地域福祉課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 議案第42号 令和6年度豊明市一般会計補正予算（第10号）に係る本委員会所管分のうち、地域福祉課所管分を御説明します。

最初に、歳出予算を御説明させていただきます。

補正予算書47ページ、48ページをお開きください。

48ページ、3款1項1目2 福祉推進事業の説明欄に記載の委託料、並びに次の段、4、社会福祉総務事務事業の説明欄に記載の委託料及び借上料は、いずれも実績状況を勘案して減額するものであります。

次のページをお開きください。

50ページ、3款1項3目2 心身障害児者扶助事業の説明欄に記載の各扶助費は、今後の執行見込額を勘案して増額しようとするものであります。

続きまして、歳入を御説明させていただきます。

13ページ、14ページをお開きください。

14ページ上段、14款1項1目1 心身障害者福祉費負担金の説明欄記載の2番目、3番目並びに18ページ下段、15款1項1目2 心身障害者福祉費負担金の説明欄記載の2番目、3番目のものは、いずれも50ページの歳出で御説明いたしました事業費に対する国及び県からの財源手当てとなります。

29ページ、30ページをお開きください。

30ページ中段、20款5項3目5 雑入のうち、上から2番目の心身障害児者扶助費過年度返還金は、障がい福祉サービス事業所において、国、県から行政処分を受けたことに関

連してサービス等給付費を3事業所から返還されるもの、次のペガサス財団助成金は、このたび実施をいたしました、まごころサポート便事業に対する当該財団からの財源手当てとなります。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 説明願います。

近藤保険医療課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） それでは、保険医療課所管分につきまして御説明をいたします。

歳出から御説明いたしますので、補正予算書48ページを御覧ください。

下の表、上から3つ目でございます。国民健康保険特別会計繰出事業で2,497万6,000円の増額でございます。

説明欄を御覧ください。

国保税の低所得者軽減などの影響分に対して繰り出す保険基盤安定繰出金の保険税軽減分の減額、保険者支援分の増額、2つ飛んで、財政安定化支援事業繰出金の増額は、本年度の繰り出し額の確定によるものでございます。また、その他国民健康保険特別会計繰出金の2,000万円の増額につきましては、国保税及び国、県からの補助金が当初見込みより下回ったことにより国保特別会計に繰り出すものでございます。

1ページおめくりいただき、49ページ、50ページをお願いします。

4目 福祉医療費で745万9,000円の増額でございます。これは透析などの医療を行う自立支援医療費についての増額でございます。

その下、5目 後期高齢者医療費で340万1,000円の減額でございます。

説明欄を御覧ください。

後期高齢者医療事務費繰出金の減額は後期高齢者医療特別会計における総務費の減額分となります。また、後期高齢者医療保険基盤安定繰出金の減額は本年度の額の確定によるものでございます。

続きまして、歳入を御説明いたしますので、13ページ、14ページを御覧ください。

14款1項1目 民生費国庫負担金の一番上、障害者医療費国庫負担金の増は、歳出で御説明いたしました自立支援医療の2分の1となります。

1行飛んで、5節 保険基盤安定負担金から3つは、国保の国の負担分の確定によるものでございます。

続きまして、17ページ、18ページを御覧ください。

15款1項1目 民生費県負担金の一番上、障害者医療費負担金の増は、先ほどの自立支

援医療費の4分の1となります。

6節 保険基盤安定負担金から次のページにかけての3つは、国保の県の負担分の確定によるものでございます。

また、9節 後期高齢者医療保険基盤安定負担金240万の減額につきましても、後期高齢者医療保険基盤安定繰出金に対する県負担分の確定によるものとなります。

以上で保険医療課の説明を終わります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 塚本長寿課長。

○長寿課長（塚本由佳君） それでは、長寿課所管分について御説明をいたします。

ページは47ページ、48ページをお願いいたします。

48ページ、下から2段目、事業1、老人福祉事業の説明欄、高齢者報償金等の34万円の減額、その下、老人介護手当給付費60万円の減額、理髪サービス事業6万円の減額、その下、高齢者タクシー料金助成事業費150万円の減額、ページをおめくりいただきまして、50ページ、一番上の段、保険料25万円の減額は、いずれも予算執行見込みによる不用額を減額するものです。

その下、事業9、介護保険特別会計繰出事業は、介護保険特別会計の執行見込みの減額に合わせ、一般会計からの繰出金を総額で373万1,000円を減額するものです。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 松村子育て支援課長。

○子育て支援課長（松村清子君） それでは、子育て支援課所管分につきまして、歳出より御説明いたします。

補正予算書の51ページ、52ページを御覧ください。

上段の3款2項1目 児童福祉総務費、3、児童福祉事務事業7,922万9,000円の減額です。説明欄の児童手当費、児童扶養手当費など、これら全て執行の見込みにより減額でございます。

同じページ、最下段の4款1項2目 母子保健費、1、母子保健活動事業1,710万円の減額です。

次の54ページの上段の説明欄、乳児及び妊婦健診委託料、出産・子育て応援交付金など、全て執行の見込みにより減額するものでございます。

その下、同じ母子保健費の2、子育て予防接種事業は40万円の減額でございますが、予防接種等費用助成金について執行の見込みにより減額するものでございます。

続いて、歳入について説明させていただきます。

13ページ、14ページを御覧ください。

14款 1 項 1 目 民生費国庫負担金、2、児童福祉費負担金159万5,000円の減額です。これは先ほど歳出で御説明しました児童扶養手当費等を減額したことによるものでございます。

1 枚おめくりいただき、15ページ、16ページを御覧ください。

14款 2 項 2 目 民生費国庫補助金、3、児童福祉費補助金は785万5,000円の減額です。説明欄を御覧ください。

児童虐待防止対策等総合支援事業費補助金は、家庭相談員の人員配置に関する国の補助が重層的支援体制整備事業の補助金に組み込まれたことにより減額するものでございます。

その下の3目 衛生費国庫補助金、1、衛生費補助金は395万円の減額です。これは先ほど歳出で説明いたしました出産・子育て応援交付金等を減額したことによるものでございます。

続いて、17ページ、18ページを御覧ください。

上段の14款 4 項 2 目 民生費国庫交付金、1、児童福祉費交付金は1,349万7,000円の減額です。

説明欄を御覧ください。

次世代育成支援対策施設整備交付金は、ひまわり児童館の建物部分の改修に関するものでございますが、一部、国庫と市債の調整で減額することとなったものでございます。

同じページ、下段の15款 1 項 1 目 民生費県負担金、3、児童福祉費負担金4,040万5,000円の減額は、歳出で御説明いたしました児童手当費等を減額したことによるものです。

続いて、19ページ、20ページを御覧ください。

15款 2 項 3 目 衛生費県補助金、2、保健衛生費補助金のうち、説明欄の出産・子育て応援交付金事業費補助金95万円の減額は、先ほど御説明した歳出の減額によるものです。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 小川こども保育課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 続きまして、こども保育課所管分につきまして御説明いたします。

歳出から説明いたしますので、補正予算書の51、52ページを御覧ください。

中段辺り、3 款 2 項 2 目 保育園費を592万7,000円減額するものでございます。

主なものを説明いたしますので、52ページ、説明欄を御覧ください。

保育事業 3 行目、電算関係委託料560万円の減額は、契約により保育園業務システムの執行額の確定によるものでございます。

その下、医療的ケア児保育委託料529万円の減額は、執行見込みにより減額するものでございます。

2行下、民間保育所等運営費補助金720万円の増額、保育事業、最下段の認可外保育施設光熱費高騰対策支援金11万8,000円の増額は、愛知県が実施します物価高騰の影響を受ける民間保育所等への支援を実施するため、予算を増額しております。

続きまして、歳入を説明いたしますので、17、18ページをお願いします。

上の表、14款4項2目 民生費国庫交付金、2、保育園費交付金、デジタル田園都市国家構想交付金280万円の減額は、歳出で説明しました保育業務システムの額の確定により減額するものでございます。

1枚めくっていただきまして、19、20ページ、下の表、真ん中辺り、15款2項2目 民生費県補助金、6、保育園費補助金、保育対策総合支援事業費補助金396万8,000円の減額は、歳出で説明しました医療的ケア児保育委託料の減額に伴い、減額するものでございます。

その下、保育所等給食費軽減対策支援金964万1,000円の増額は、歳出で説明しました物価高騰支援に係る県からの補助金となります。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 川原健康推進課長。

○健康推進課長（川原静恵君） それでは、健康推進課所管分につきまして歳出より主なものについて御説明いたします。

補正予算書の53、54ページを御覧ください。

4款1項3目1 健康推進活動事業は170万4,000円の減額です。

説明欄を御覧ください。

骨髄移植ドナー助成金、若年がん患者在宅療養支援事業費補助金等において執行の見込みにより減額するものです。

その下です。2、成人予防接種事業は7,220万5,000円の減額です。

説明欄を御覧ください。

予防接種委託料は新型コロナワクチン定期分、風しん抗体検査・予防接種委託料は執行の見込みにより減額するものです。

続きまして、歳入について御説明いたしますので、19、20ページを御覧ください。

15款2項3目2 保健衛生費補助金、説明欄、骨髄提供助成事業費補助金、若年がん患者在宅療養支援事業費補助金は、歳出で説明いたしました事業費の減額に伴い、それぞれ補助金を減額しております。

続きまして、29、30ページを御覧ください。

20款5項3目5 雑入、説明欄、上から4つ目、新型コロナ定期接種ワクチン確保事業助成金は、新型コロナワクチン接種事業費の減額に伴い減額しております。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑についてはページ数を示してからお願いします。

質疑のある方は挙手を願います。

三浦委員。

○三浦桂司委員 48ページ、国民健康保険特別会計繰出事業ですけれども、保険基盤安定繰出金、保険者支援分615万9,000円などの繰り出しの増は実績に合わせたものなのか、それと、一番下のその他国民健康保険特別会計繰出金の2,000万は見込みより少なくて、こっちの議案第43号の補正予算書、こっちに2,000万があるんですけども、ここのところの説明をもう少し詳しくお願いいたします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） この国保特別会計繰出事業の説明欄の5つにつきましては、実績及びその見込みに基づいて増減するものでございます。最後のその他特別会計繰出金の2,000万につきましては、委員のおっしゃるとおり、議案第43号でございます国保特別会計のほうに繰出しをするものでございます。

内容といたしましては、国保特別会計において、国保税1,200万円程度減の見込みと特定財源の減の見込みに対応するものでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 48ページの民生費の福祉推進事業の説明欄、生活困窮者緊急生活支援事業委託料240万の減はまごころサポート便ですが、これはなぜ減っていますか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 本年度、対象者数を600世帯と見込んで実施をしてまいりましたが、結果として申請をいただいた数が減ったということがございまして、その差額について減額補正をさせていただこうというものでございます。

以上であります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 600世帯ということは分かりました。この減った分の世帯数というのは分かりますでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 案内を配付した実世帯数といたしましては、3回分を合わせて1,790となっております。補正予算を編成した時点とは若干数字が異なっていますが、もう既に配達が完了している3回分を含めまして、その実配達数といたしましては1,384世帯というふうになっております。

以上であります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

一色委員。

○一色美智子委員 54ページ、真ん中よりちょっと下の成人予防接種事業、まず風しん抗体検査・予防接種委託料、これは今年度でたしか終わると思うんですけども、実績が分かれば教えてください。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） まだ経過途中ではございますが、令和6年度の現在の状況につきましては、抗体検査が132件、予防接種が21件となっております。合わせて累計で抗体の実施率を見ますと、県と全国と比べても高い位置ではございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

一色委員。

○一色美智子委員 同じところの1つ上の、これ、金額が大きいものですから、予防接種委託料7,052万7,000円、これ、ちょっと理由を聞かせてください。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） こちらは特例臨時接種から6年度から定期接種となっております。対象者につきましては、令和5年度までの実績を見まして、60%ぐらい、対象者の6割ぐらいの接種を見込んでおりましたが、現実はまだ接種率が伸びておりませんので、当初予算の半分ぐらいの30%程度ということで、このたび減額をさせていただきます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 50ページの真ん中辺り、心身障害児者扶助事業、これは訓練等給付費から心身障がい児通所・居宅サービス事業費まで、12月でも補正増をされましたけども、今回4,873万1,000円ですか、かなりの金額が増となっておりますけども、12月で補正されたということで、1月、2月の執行状況と3月の見込み、分かりますかね、大体の。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 今、手元にある資料を確認させていただきますと、まず訓練等給付費につきましては、1月末現在の執行額といたしましては1億2,126万4,486円となっております。次の介護給付費におきましては、2月末現在の同じく執行済額といたしましては1億361万6,821円、すみません、ちょっと答弁を保留させていただきます。もう一回頭の中を整理させていただきます。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 後ほどお願いします。

ほかにございませんか。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 30ページの20款5項 雑入の身障児の扶助費過年度返還金、これは返還……。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） マイクを近づけてください。

○近藤ひろひで委員 返還されるべき返還金が全てもう既に返還されている、もしくは未納、これ、答えれたらでいいですが、残ってる場合がありますか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） まず、この過年度返還金につきましては、3つの事業者から返還をされるものでございます。1つはDSパートナーズという会社でございますけども、こちらの返還金については6年度をもって全て完了いたします。カタリスト株式会社、もう一社はカタリスト株式会社でございますけども、これについては7年度以降も若干の返還金が残ってございます。3社目、株式会社恵については、今年度の返還をもって全て完了するというような状況でございます。

以上でございます。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 52ページの保育事業、真ん中のところの保育事業、民間保育所等運営補助で720万増と。720万増ですよ。入で見ると、20ページの保育費補助が何かごちゃごちゃと書いてあって、764万とか、市と民間と、この保育園というのは市と民間と認可外とか、いろいろごちゃごちゃあるので、何か物価高騰の給食費と言ったので、もう少し詳しくお願いしたいんですけども。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 説明をお願いします。

小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 補正の歳出よりも歳入のほうが多い状況になっておりますので、ちょっと不思議になったというところかなと思いますけれども、当初予算で給食費の軽減の予算を市単で60円、当初予算でも計上しておりました。県のほうが2月議会で国の交付金を使って、下半期だけですけれども、1食110円の軽減をするということでございます。実際には、歳出のほうは既にもう60円持っておりますので、720万というのは下半期の差額の50円分になります。入のほうは110円に対する県の補助率3分の2が当たっておるものでございます。こちらの支援の先は民間保育所等でございます、市内にあります民間認可保育所6園、地域型保育事業所5園、認定こども園1園、認可外保育施設4園に対して行うものでございます。前半は市単で60円になり、下半期は県の補助金を頂いて110円を補助するというものでございます。

以上でございます。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 今、給食費というのは、認可外とかいろいろ合わせると、公立は抜いて、何食を用意していますかね。分かりますかね。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 1年、先ほど16園の私立分ですけれども、28万8,000食分の予算を計上しております。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 先ほど三浦委員の御質問について保留をさせていただいた内容について、改めて御答弁をさせていただこうというふうに思っております。

まず、ページにつきましては50ページでございますけれども、その執行状況ということでございました。12月末現在の執行状況ということで御答弁に代えさせていただこうというふうに思っておりますけれども、まず1つ、訓練等給付費、こちらのほうにつきましては4

億6,287万8,000円というふうになってございます。次の介護給付費につきましては4億1,815万円となつてございます。次の施設入所支援費につきましては4,495万円となつております。次の心身障がい児通所・居宅サービス事業費につきましては4億991万9,000円と、このような数字になっております。

以上であります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 確認なんですが、これは全部12月末時点の今おっしゃった数字ですね。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） いずれも12月末現在の執行状況でございます。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） よろしいですか。

近藤委員。

○近藤ひろひで委員 48ページ、最下段のタクシーの助成についてお聞きします。この150万というのは12月末ですかね、まず、これ。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらのほうは積算は補正予算計上時になりますので、おおむねのものになります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 近藤委員。

○近藤ひろひで委員 まず、150万というのは想定額の何%の減なのか、すみません、最初のパイを知ってれば聞かなくていいんですけど、分かれば教えてください。

それと、券を取りに来て、実際に使って、タクシー会社さんからこれだけ使いましたよというふうに精算が求められて、精算されたのが実績という解釈でいいですか。その2点を教えてください。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） タクシーの当初予算の積算としましては1,200万円を予算計上しておりました。おおよそ2,000人の方が使っていただけるというふうにしておりますので、ちょっと今、パーセンテージを計算できないんですけど、申し訳ありません。

先ほどの委員がおっしゃられましたスキームにつきましては、そのとおりでございまして、実際にタクシーで使っていただいて、タクシー会社さんがそのチケットを受けていただき、その後、市のほうに請求していただいて、こちらがお支払いして実績となるというふうでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 近藤委員。

○近藤ひろひで委員 関連すると思って聞きますけど、ということは、例えば3月末、締め日があるかと思うんですが、年度をまたぐ可能性があるんでしょうか、精算。タクシー会社さんと本市との精算。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） チケットにつきましては、今、送付させていただいております分につきましては3月末までのチケットを送らせていただいておりますので、そちらをタクシー会社さんが3月末までに御利用いただいた分で4月になってから御精算いただき、請求していただいた分までが令和6年度のタクシーチケットの助成というふうになります。4月からにつきましては、また送付をさせていただきます、新しいチケットで御利用者様に、予算をお認めいただいたらということにはなりますが、そちらのほうで4月以降は新しくということにはなっていないと思います。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 近藤委員。

○近藤ひろひで委員 だから、要はぎりぎりに、3月末ぎりぎりに使われてタクシー会社さんが精算すると4月1日以降に請求があるので、その予算の執行の年度またぎがあるんですよという質問です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） すみません、3月末まで御利用いただいて4月の請求分になりますので、執行自体は4月もまだ執行するという形でございます。

以上です。

（分かりましたの声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

手を挙げてください。

浅井委員。

○浅井たかお委員 まごころサポート便の先ほど……。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ページ数をお願いします。

○浅井たかお委員 すみません、48ページ、すみません、48ページのまごころサポート便で、先ほど御説明いただいたんですけど、ちょっと私の求めているのとちょっと違ったかなと、この240万減という部分が何世帯分かということ、それが1,340。もともとの世帯、この対象者ですね。まごころサポート便のもともとの対象者は何世帯でしょうか。600でい

いですか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員）　お願いします。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君）　もともと予算編成をさせていただきましたのは1回当たり7,000円、3回分として対象者数は600世帯、合わせて1,260万円という予算の積算をさせていただいております。

以上であります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員）　浅井委員。

○浅井たかお委員　それで、このまごころサポート便というのは配達方法というのはどういったものでしょうかね。ちょっと前に御説明あったかもしれないですけど。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員）　もう一度お願いします。

○浅井たかお委員　配達方法はこういった方法でしょうか、届けるときの。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員）　小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君）　配達につきましては、企業組合ワーカーズコープといったところと委託契約を締結して配送をお願いをしているものでございます。

以上であります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員）　浅井委員。

○浅井たかお委員　これはそういうことじゃなくて、置き配ということで聞いているんですけど、それで、玄関先に置いていくということでお聞きしてるんですね。それで、これは配達時間とか配達日というのは要望はできますでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員）　小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君）　対象者600世帯の方にお配りをするので、一人一人に何日の何時ということのお約束というのはなかなか難しいというふうに思っております。当然、配達をした時点で対象者の方がいれば直接お会いをして配達をさせていただきますし、いなかった場合については、やむを得ず置き配ということをさせていただきます。ただ、その後にその物資が取り込まれたかどうかということについてはインターネットで確認をさせていただいているという状況ではあります。

以上であります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員）　浅井委員。

○浅井たかお委員　すみません、そういったふうに玄関先へ置くだけだということで先日お聞きしたので、窓口で。ちょっと今、そういう質問になってしまったんですけど、分かりました。

では、ページ数、50ページのこの訓練等給付費なんですけど、こういったものの訓練の内容というのはどんなものなんでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 概要を簡単に説明願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 一例を申し上げれば、就労継続支援B型、就労支援と、そういったものも1つの訓練の内容となつてございます。内容については予算委員会の中でも御説明をしたということでございます。

以上であります。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

浅井委員。

○浅井たかお委員 補正予算に反対します。

今回の補正予算は執行残が多過ぎて、最初の見込みが甘過ぎると思います。物価高騰で市民生活が大変な中、これだけあればほかの福祉事業ももっとできたと思います。以上の理由から反対します。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 委員会所管部分について賛成いたします。

今、質疑にあったように、執行残と入札残とか、国保の繰り出し、老人扶助事業、心身障がい児者扶助については不足にならないように、保育事業への大きなものとしては、下半期の、先ほど課長が言われましたが、物価高騰助成金など、いずれも必要不可欠で適正に執行されていると思いますので、賛成いたします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

近藤委員。

○近藤ひろひで委員 いずれの内容も、いわゆる執行残も増も当局でコントロールできる話ではありませんので、そういったところで私はこの補正に対して何も反対する理由が全く見当たらないので、しかも増か減を議案として図られてるところで、ほかの疑問にも丁寧に説明されてましたけれど、予算書なので、そういったところを精査して委員会で諮っていくべきだなと、これは独り言ですが、賛成の討論といたします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 見ると執行残は多いですけども、増にすれば増にするでまた見込みが甘かったと言われるし、でも、中身を精査してみると、やっぱりここには必要だなと思うものにお金をかけてくださっているとか、努力していただいていたこととかもかいま見えたので、賛成とさせていただきます。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第42号のうち本委員会所管部分については、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 賛成多数であります。よって、議案第42号のうち本委員会所管部分については、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

ここでちょっと皆さんにお聞きしたいんですが、1時間たって10分間の休憩……。

（発言する者あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 続けてよろしいですか。

では、引き続いて、議案第43号 令和6年度豊明市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）についてを議題といたします。

本案件につきまして既に本会議で近藤保険医療課長より提案説明を受けていますので、直ちに質疑に入りたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第43号は提案説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

浅井委員。

○浅井たかお委員 ページ数は5ページです。5ページの上段、医療給付費分現年課税分、それから、介護納付金分現年課税分、後期高齢者支援金分現年課税分、これ、それぞれ減なんですけど、これは減っているのはどういうことでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 直近の実績による推計で減をさせていただいておりますが、当初予算で被保険者を1万700人と見込みましたが、平均で1万500人程度となる見込

みでございます。当初より200人程度少ないことになりますので、その影響によるものでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 15ページの国民健康保険財政調整基金の積立金なのですが、4,441万1,000円、これが積み立ててあるんですけど、これはなぜこれだけの積立てができたんでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 令和6年度予算におきまして見込まれる剰余金を一旦積み立てることとしたものでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 5ページの下段の特別交付金の保険者努力支援分493万3,000円減は県費ですが、なぜ減らされたんでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 予算編成時の見込みとメニューが変わったことなどによる……。いいですか。

（発言する者あり）

○保険医療課長（近藤有紀子君） 予算編成時の見込みと具体的なメニューが変わったことなどによるものでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 次に、7ページの上段、これが特別調整交付金分(市町村分)875万5,000円減となったのは、これはどういう理由からでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 一番大きな要因はマイナ保険証の導入に関わるシステム改修費が前のページ、5ページの社会保障・税番号制度システム整備費等補助金のほう

に移ったためによるものでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 同じく 7 ページ、すぐ下の特定健康診査等負担金、この 39 万の減はどうしてですか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 健診の受診等の実績見込みによるものでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 7 ページの下段、説明欄の保険基盤安定繰入金、この 286 万 1,000 円減の理由を教えてください。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 実際の実績見込みによるものでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 7 ページの一番下、未就学児均等割保険税繰入金が 9 万 9,000 円減の理由は何でしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 実績見込みによるものでございます。

（分かりましたの声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 9 ページの上段の 7 節の財政安定化支援事業繰入金のこの 157 万円増は、これはなぜでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 実績見込みによるものでございます。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 9 ページの一番下の繰越金の 4,292 万円の増は、これはいつの繰越金でしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 令和5年度分を予算化するものでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 11ページの上段、電算関係の委託料350万減、これはどういった理由からですか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 当初予算で見込みましたマイナ保険証関連のシステム改修費2本にしまして、実際には1本で済んだ部分がございますので、実績による減でございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

浅井委員。

○浅井たかお委員 反対の討論をします。

これも物価高騰が収まりを見せない中で国保税をどんどん上げ続けているのに、国保財政調整基金には前年度よりもさらに多く4,440万円を積上げをしている。もっとそのほか繰入れをして、国保税の引上げを抑えるべきと考えるので反対します。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

近藤委員。

○近藤ひろひで委員 国保の特別会計の補正予算ということなので、これは中身でない、補正なので、実績見込みによるものがほとんどだと思いますので、賛成の討論といたします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 補正の内容ですし、ほとんどここに書かれているものは予算書を見れば十分比べたら分かる数字かなと思いますので、反対する理由がないので賛成といたします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第43号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 賛成多数であります。よって、議案第43号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第44号 令和6年度豊明市介護保険特別会計補正予算（第4号）についてを議題といたします。

本案件につきましても、既に本会議で塚本長寿課長より提案説明を受けていますので、直ちに質疑に入りたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第44号は提案説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

浅井委員。

○浅井たかお委員 7ページの一歩下の欄、2億252万9,000円ですけれども、積立金の総額は幾らになりますか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 基金の総額ですね。

○浅井たかお委員 基金の総額、はい、すみません。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 基金の総額につきましては11億6,824万1,879円でございます。以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 それでは、これはなぜここまでの積立てができたのでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらにつきましては、給付のほうの見込みが予定よりも少し下がったということでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 7ページの中段、説明欄の介護認定審査会委員の報酬128万減、これは

どうして減っているのでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 実際に介護審査会をやった実績と今後の見込みを計算いたしまして減額するものでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 いいです。大丈夫です。すみません。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ないですか。

ほかに質疑、よろしいですか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

浅井委員。

○浅井たかお委員 反対の討論をします。

今回もまた前年度よりも多い2億252万9,000円もの積立てをして、総額11億円以上の積立てがされました。介護サービスを受けたくても希望するサービスがなかったり、入所できる介護認定が取れなかったりして、介護サービスが低下する中、一方では使われないまま積立金を増やし続けている。徴収した介護保険料は納めた人たちに還元しなくてはいけないと思いますし、介護保険料の減額も考えるべきだと思い、以上の理由から反対します。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 介護給付費準備基金というのは、次回の改正に向けてのいろいろ積立てをしておかないと一気に上がるので、基金というのはたくさん積んでおいて、次回の改正のときになるべく高くないようにお願いして、賛成といたします。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第44号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） よろしいですか。もう一度お願いします。賛成

の方。

(賛成者挙手)

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 挙手多数であります。よって、議案第44号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第45号、静粛に願います。議案第45号 令和6年度豊明市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）についてを議題といたします。

本案件につきましても、既に本会議で近藤保険医療課長より提案説明を受けておりますので、直ちに質疑に入りたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第45号は提案説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

浅井委員。

○浅井たかお委員 では、7ページの一番下、後期高齢者医療広域連合負担金91万4,000円増なんですけど、利用者の2割負担になった部分もあるんですけど、県への負担金が増えたのはなぜでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 分かりますか。

(もう一度お願いいたしますの声あり)

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） もう一度お願いします。

○浅井たかお委員 この後期高齢者の利用負担分が2割という部分の収入によって負担が増えたんですけれども、それがあってでも県への負担金が増したのはなぜでしょうか。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 2割負担につきましては、窓口の自己負担のことだと思います。こちらのほうの納付金事業の負担金につきましては、あくまで保険料の負担分につきましては広域連合に納入するものですので、ちょっと内容が異なるかと思いますが、今回の増につきましては実績によるものでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ほかにございませんか。

(進行の声あり)

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

(進行の声あり)

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第45号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第45号は全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますか。

(異議なしの声あり)

○健康福祉委員長（ふじえ真理子議員） ありがとうございます。委員会報告書については、例に従い提出をさせていただきます。

長時間にわたり御審査、御苦労さまでした。これにて健康福祉委員会を閉会いたします。

午前 1 1 時 1 2 分閉会

豊明市議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する。

健康福祉委員会

委員長